**免除申請書**

このたび、令和７年度和歌山県公立学校教員採用候補者選考試験において、下記事由により、第一次選考試験の一部免除を申請します。

なお、下記の事実に相違ありません。

令和６年　　月　　日

和歌山県教育委員会教育長　様

受験校種・教科（　　　　　　　　　　）

氏　名　　　　（　　　　　　　　　　）

**※申請する免除の番号一つを○で囲み、必要事項を記入してください。**

記

１　過年度第二次選考試験受験による免除（Ⅱ－２－（１））

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 直近で一次合格した選考 | 受験校種・教科 | 受験番号 |
| 令和　　　年度採用候補者選考 |  |  |

　　（実施年度と標題の年度は異なります。以下を参考に正確に記入してください。）

|  |
| --- |
| 令和 ５ 年度採用候補者選考（令和 ４ 年度に実施）令和 ６ 年度採用候補者選考（令和 ５ 年度に実施） |

２　講師経験による免除（Ⅱ－２－（２）ア・イ）

|  |  |
| --- | --- |
| 県内国公立学校における講師等経験月数（平成３０.４.１～令和６.３.３１） | 左記のうち受験校種ごとに定められた職種経験の月数 |
| 　　　　　月 | 　　　　　月 |

※受験校種ごとに定められた職種での経験月数については要項P.3及び以下を確認してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 受験校種 | 受験校種ごとに定められた職種経験 |
| 小学校 | 小学校での常勤講師の経験 |
| 特別支援学校 | 特別支援学校での常勤講師の経験及び小中学校での常勤講師の経験のうち、特別支援学級を担当した期間 |
| 中学校 | 中学校での常勤講師及び非常勤講師 |
| 高等学校 | 高等学校での常勤講師及び非常勤講師 |
| 中高共通 | 中学校及び高等学校での常勤講師及び非常勤講師の経験 |
| 養護教員 | 養護助教諭の経験 |

※勤務歴は「講師経験による免除に係る勤務歴」に記入し、辞令等の写しを添付してください。また、小学校及び特別支援学校の志願者は、「講師経験による免除申請者対象提出課題」も併せて提出してください。

３　英語の技能検定の成績等による免除（校種・教科専門）（Ⅱ－２－（３））

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 成績等取得年月日 | 検定名 | 得点等 |
|  |  |  |

※実施団体等が発行する成績等を証明できる資料の写しを添付してください。

４　英語の技能検定の成績等による免除（総合教養）（Ⅱ－２－（４））

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 成績等取得年月日 | 検定名 | 得点等 |
|  |  |  |

※実施団体等が発行する成績等を証明できる資料の写しを添付してください。

|  |
| --- |
| 勤　務　歴　（平成３０年度～令和５年度の勤務歴を古い順に記入してください。） |
| 学　校　名 | 任　用　・　採　用　期　間 | 月数 | 種　別 |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |
|  | H･R　年　月　日　～　H･R　年　月　日 | 月 |  |

**講師経験による免除に係る勤務歴**

※勤務先欄には、和歌山県内の公立学校名を記入してください。

※同じ月に講師として任用された場合は下記の例のように算定してください。同じ月は２度カウントできません。

　　　例：令和５年４月１０日 ～ 令和５年６月　２日　→　３月

　　　　　令和５年６月１５日 ～ 令和５年７月１８日　→　１月

※平成は「H」を、令和は「R」を○で囲んでください。

※2019年の元号は、４月３０日までは「平成」、５月１日以降は「令和」である。

※種別は、下記を参考にして正確に記入してください。

・常勤講師（欠員補充・研修補充・産休補充・育休補充・病休補充・介休補充・休職補充等）

・非常勤講師（週あたりの時間数を記入してください。）

・養護助教諭として任用されていた場合は、「養護助教諭」と記入してください。

　・実習助手として任用されていた場合は、「実習助手」と記入してください。

　・寄宿舎指導員として任用されていた場合は、「寄宿舎指導員」と記入してください。

※この申請書は、講師経験を証明できる辞令等（写し）を添付のうえ、願書とともに提出してください。

※令和２年３月３１日以前の非常勤講師経験のうち、和歌山県教育委員会で採用され市町村教育委員会に派遣された場合は、和歌山県教育委員会の辞令の写しと市町村教育委員会の辞令の写しの両方を必ず添付してください。

※勤務歴欄が不足する場合は、この申請書をコピーして記入してください。